



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成22年10月26日

上場会社名 エムスリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 高宏 (TEL) 03-5408-0800
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,858	36.3	2,662	29.5	2,605	27.8	1,434	—
22年3月期第2四半期	5,030	22.9	2,056	10.7	2,038	3.4	113	△89.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5,478.71	5,416.07
22年3月期第2四半期	431.98	429.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	14,678	11,547	76.5	42,862.37
22年3月期	15,266	11,258	71.4	41,632.94

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,229百万円 22年3月期 10,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3,600.00	3,600.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1 当四半期における配当予想の修正有無：無

2 現時点において、平成23年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	22.8	5,800	20.7	5,800	19.6	3,300	70.2	12,599.36

(注) 1 当四半期における業績予想の修正有無：無

2 1株当たり予想当期純利益については、平成23年3月期第2四半期期中平均株式数261,918株に基づいて算出しています。

4. その他（詳細は、[添付資料] P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期2Q	261,984株	22年3月期	261,732株
23年3月期2Q	一株	22年3月期	一株
23年3月期2Q	261,918株	22年3月期2Q	261,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更	14
(8) 表示方法の変更	15
(9) 注記事項	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当第2四半期連結累計期間において8千人増加の19.6万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの浸透も進み、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(<http://www.AskDoctors.jp/>)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon女性の医学」(<http://askmn.jp/>)、最新の心理学をベースとした心の健康管理サイト「AskMind★ココロ日記」(<http://askmd.jp/>)、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社(以下「メビックス」という)、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社(以下「エムスリーキャリア」という)、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社(以下「アイチケット」という)等、グループ会社も拡大しています。

米国においては、「MR君」の米国版である「M3 Messages」サービスの展開が順調に進み、現在、「がん」「リウマチ」「神経科」「循環器」「PCP」等の領域で、11社24薬剤の契約を締結しており、うち12薬剤でサービス提供中です。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

	平成22年3月期 第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	平成23年3月期 第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	比較増減		(参考) 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
			増減額	増減率	
売上高	5,030	6,858	+1,827	+36.3%	11,811
営業利益	2,056	2,662	+605	+29.5%	4,803
経常利益	2,038	2,605	+567	+27.8%	4,851
四半期(当期)純利益	113	1,434	+1,321	+1,169.4%	1,938

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

	セグメント	(参考) 平成22年3月期 第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	平成23年3月期 第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	比較増減	
		増減額	増減率		
医療 ポータル	セグメント売上高	4,071	5,173	+1,102	+27.1%
	セグメント利益	2,498	2,905	+407	+16.3%
エビデンス ソリューション	セグメント売上高	439	982	+542	+123.4%
	セグメント利益	△183	△48	+135	—
海外	セグメント売上高	446	704	+257	+57.6%
	セグメント利益	△49	36	+85	—
その他	セグメント売上高	117	141	+23	+20.3%
	セグメント利益	△1	0	+1	—
消去又は全社	セグメント売上高	(45)	(143)	—	—
	セグメント利益	(225)	(288)	—	—
合計	売上高	5,030	6,858	+1,827	+36.3%
	経常利益	2,038	2,605	+567	+27.8%

(注) 第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。なお、上記記載の前第2四半期連結累計期間の数値については参考情報です。

①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、3,277百万円（前年同期比17.3%増）となりました。国内において、eディテール（会員向けに配信したメッセージ）量が伸びたこと等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比19%増となった等、全体としては前年同期比17.3%の増収となりました。

調査分野の売上高は500百万円（前年同期比10.7%増）となりました。企画型調査の拡大と提携企業との連携強化等の要因により好調に推移しました。

その他分野の売上高は、1,394百万円（前年同期比68.9%増）となりました。エムスリーキャリア設立が増収に貢献した他、「AskDoctors」をはじめとしたコンシューマ事業が好調に推移しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、5,173百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、コンテンツ売上増加に伴う業務委託費の増加、エムスリーキャリア設立等のエムスリーグループ業容拡大に伴う人件費増加及びサービス拡大に伴う会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、2,226百万円（前年同期比42.9%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は2,905百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

なお、エムスリーキャリアにおいては、第1四半期連結会計期間（4月～6月の3ヶ月間）は経常利益69百万円、第2四半期連結会計期間（7月～9月の3ヶ月間）は経常損失62百万円となり、前四半期に比べ131百万円悪化しました。このエムスリーキャリアにおける業績の悪化があったものの、他の医療ポータルセグメントのサービスが拡大したため、医療ポータルのセグメント利益は、第1四半期連結会計期間（4月～6月の3ヶ月間）においては1,435百万円、第2四半期連結会計期間（7月～9月の3ヶ月間）においては1,470百万円となり、前四半期に比べ34百万円増加となりました。

②エビデンスソリューション

エビデンスソリューションセグメントにおいては、既存の大規模臨床試験の契約に伴う収益が中心となり、売上高982百万円、セグメント損失48百万円となりました。構造改革の進展によるコスト削減や、エムスリーとメビックスのシナジー効果が順調に拡大し、当第2四半期連結会計期間（7月～9月の3ヶ月間）においてはセグメント利益が黒字化しました。

③海外

北米の売上高は、「M3 Messages」サービスの導入が着実に進行したことに加え、調査事業が好調に推移したことにより、641百万円（前年同期比55.9%増）となりました。また、韓国においても順調に事業が推移した結果、為替の悪影響（47百万円）を吸収し、海外セグメントの売上高は704百万円（前年同期比57.6%増）となりました。

また、「M3 Messages」サービス拡大のための費用の増加を吸収し、海外セグメントの利益は36百万円となりました。

④その他

その他セグメントの売上高は、アイチケットのサービス拡大により、売上高141百万円（前年同期比20.3%増）、セグメントの利益0.1百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間における当社グループの売上高は6,858百万円（前年同期比36.3%増）、営業利益は2,662百万円（前年同期比29.5%増）、経常利益は2,605百万円（前年同期比27.8%増）、四半期純利益は1,434百万円（前年同期比1,169.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比587百万円減の14,678百万円となりました。法人税等の支払等により現金及び預金が854百万円減少したことを主な要因に、流動資産は前連結会計年度末比755百万円減の11,001百万円となりました。また、株式会社翻訳センターへの出資等により投資有価証券が251百万円増加したことを主な要因に、固定資産は168百万円増の3,677百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比876百万円減の3,131百万円となりました。法人税の支払等により未払法人税等が277百万円減少したことを主な要因に、流動負債は831百万円減の2,962百万円となりました。固定負債は、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が82百万円減少したことを主な要因に、前連結会計年度末比44百万円減の169百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比289百万円増の11,547百万円となりました。四半期純利益1,434百万円を計上した一方、剰余金配当942百万円を行ったこと等により利益剰余金が446百万円増加したことが主な要因です。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より885百万円減少し、7,616百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、960百万円の収入（前年同期比260百万円の収入減）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,537百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,352百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、株式会社翻訳センターへの出資に伴う投資有価証券の取得による支出352百万円等により、823百万円の支出（前年同期比1,116百万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、936百万円の支出（前年同期比130百万円の支出増）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

①医療ポータルセグメント

医療関連会社マーケティング支援分野については、引き続き「MR君」サービスの利用顧客数及び利用量の増加を中心とした国内事業の継続的な拡大を見込んでいます。

調査分野においては、製薬会社を中心とした旺盛な需要を背景に、調査サービスの継続的な成長を見込んでいます。

その他分野においては、新たに設立したエムスリーキャリア株式会社の拡大や「AskDoctors」サービスの会員増加等、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、更なる成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

②エビデンスソリューションセグメント

エビデンスソリューションセグメントについては、大型プロジェクト等の開始と構造改革の進展によるコスト削減を見込んでいます。なお、メビックス株式会社の業績については、平成22年2月から平成23年1月の業績を、当社グループの業績見通しの対象に含んでおります。

以上の結果、エビデンスソリューションセグメントは増収増益を見込んでいます。

③海外セグメント

海外セグメントについては、米国を中心とした成長を見込んでいます。費用については、米国「M3 Messages」サービス拡大のための費用の発生を引き続き見込んでいます。

以上の結果、海外セグメントは増収増益を見込んでいます。

④その他セグメント

その他セグメントについては、アイチケット株式会社の拡大を見込んでいます。費用については、同社サービス拡大のための若干の人員増を見込んでいますが、構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果から、その他セグメントは増収増益を見込んでいます。

これらを踏まえ、平成23年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

（単位 百万円）

	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 業績予想	差異
売上高	11,811	14,500	+2,689
営業利益	4,803	5,800	+997
経常利益	4,851	5,800	+949
当期純利益	1,938	3,300	+1,362

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (7) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」をご参照ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,925,796	8,780,249
受取手形及び売掛金	2,245,492	2,207,849
商品	5,799	4,209
仕掛品	128,505	114,629
その他	705,539	663,341
貸倒引当金	△9,588	△13,013
流動資産合計	11,001,544	11,757,265
固定資産		
有形固定資産	※1 159,568	※1 134,096
無形固定資産		
のれん	1,667,455	1,784,879
その他	283,147	262,939
無形固定資産合計	1,950,602	2,047,818
投資その他の資産		
投資有価証券	1,132,658	881,634
その他	547,716	445,749
貸倒引当金	△113,112	—
投資その他の資産合計	1,567,263	1,327,384
固定資産合計	3,677,434	3,509,300
資産合計	14,678,978	15,266,565
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,440	653,161
未払法人税等	1,094,246	1,371,452
ポイント引当金	454,663	370,670
その他の引当金	101,544	84,044
その他	785,513	1,315,059
流動負債合計	2,962,408	3,794,387
固定負債		
退職給付引当金	9,945	9,415
繰延税金負債	49,481	132,081
その他	109,913	72,520
固定負債合計	169,340	214,017
負債合計	3,131,749	4,008,405

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197,147	1,190,810
資本剰余金	1,425,542	1,419,205
利益剰余金	8,568,213	8,121,666
株主資本合計	11,190,903	10,731,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,200	233,229
為替換算調整勘定	△83,849	△68,237
評価・換算差額等合計	38,350	164,991
新株予約権	47,956	39,029
少数株主持分	270,019	322,456
純資産合計	11,547,229	11,258,160
負債純資産合計	14,678,978	15,266,565

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,030,819	6,858,348
売上原価	1,379,244	1,929,696
売上総利益	3,651,574	4,928,651
販売費及び一般管理費	※1 1,594,661	※1 2,265,866
営業利益	2,056,913	2,662,784
営業外収益		
受取利息	10,705	10,170
受取配当金	—	3,230
投資有価証券売却益	6,226	—
その他	5,645	1,293
営業外収益合計	22,577	14,694
営業外費用		
為替差損	29,783	58,710
その他	11,559	13,047
営業外費用合計	41,343	71,757
経常利益	2,038,148	2,605,720
特別利益		
持分変動利益	19,993	—
持分法による投資利益	—	59,629
その他	—	5,787
特別利益合計	19,993	65,417
特別損失		
持分変動損失	6,130	—
のれん一時償却額	※2 1,009,908	—
貸倒引当金繰入額	—	113,112
その他	—	20,386
特別損失合計	1,016,038	133,498
税金等調整前四半期純利益	1,042,103	2,537,639
法人税、住民税及び事業税	956,200	1,080,864
法人税等調整額	△18,920	15,053
法人税等合計	937,279	1,095,917
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,441,721
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8,215	6,749
四半期純利益	113,039	1,434,972

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,831,420	3,499,609
売上原価	901,444	986,706
売上総利益	1,929,975	2,512,903
販売費及び一般管理費	※1 937,314	※1 1,138,803
営業利益	992,661	1,374,099
営業外収益		
受取利息	4,616	5,011
受取配当金	—	1,500
投資有価証券売却益	2,831	—
その他	2,914	165
営業外収益合計	10,363	6,677
営業外費用		
為替差損	24,993	11,485
持分法による投資損失	10,234	—
その他	7,306	5,068
営業外費用合計	42,534	16,553
経常利益	960,490	1,364,223
特別利益		
持分変動利益	19,993	—
持分法による投資利益	—	59,629
その他	—	1,343
特別利益合計	19,993	60,973
特別損失		
持分変動損失	6,130	—
のれん一時償却額	※2 145,595	—
貸倒引当金繰入額	—	113,112
その他	—	13,949
特別損失合計	151,725	127,061
税金等調整前四半期純利益	828,758	1,298,134
法人税、住民税及び事業税	551,932	613,293
法人税等調整額	△72,829	△56,155
法人税等合計	479,103	557,137
少数株主損益調整前四半期純利益	—	740,997
少数株主損失(△)	△13,346	△16,033
四半期純利益	363,001	757,030

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,042,103	2,537,639
減価償却費	57,152	81,643
のれん償却額	54,708	103,933
のれん一時償却額	1,009,908	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△6,226	—
投資事業組合運用損益（△は益）	1,723	376
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,556	110,372
ポイント引当金の増減額（△は減少）	55,065	84,601
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,015	1,532
その他の引当金の増減額（△は減少）	8,270	20,891
受取利息及び受取配当金	△12,834	△13,400
為替差損益（△は益）	29,783	58,710
持分法による投資損益（△は益）	3,774	△53,664
持分変動損益（△は益）	△13,863	—
売上債権の増減額（△は増加）	120,810	△86,312
たな卸資産の増減額（△は増加）	41,266	△33,571
その他の流動資産の増減額（△は増加）	39,391	43,530
仕入債務の増減額（△は減少）	47,824	△112,088
前受金の増減額（△は減少）	—	△336,028
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△356,284	△128,016
その他	13,137	17,312
小計	2,139,283	2,297,463
利息及び配当金の受取額	14,229	15,520
法人税等の支払額	△932,898	△1,352,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220,614	960,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,127	△106,530
定期預金の払戻による収入	4,662	50,000
有形固定資産の取得による支出	△3,522	△51,670
無形固定資産の取得による支出	△80,850	△80,586
敷金及び保証金の差入による支出	△76,775	△253,905
敷金及び保証金の回収による収入	3,954	2,313
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△352,220
投資有価証券の売却による収入	12,879	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,653,964	—
貸付けによる支出	△112,579	△31,584
その他	75	474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,940,249	△823,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	4,150	12,674
配当金の支払額	△828,097	△938,570
少数株主への配当金の支払額	△14,700	△10,773
少数株主からの払込みによる収入	32,250	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△806,396	△936,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,270	△26,164
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,537,301	△826,292
現金及び現金同等物の期首残高	8,001,977	8,502,188
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	△59,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 6,464,675	※1 7,616,731

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,391,548	439,872	2,831,420	—	2,831,420
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	2,391,548	439,872	2,831,420	—	2,831,420
営業利益(△損失)	1,271,730	△180,443	1,091,286	(98,625)	992,661

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,590,946	439,872	5,030,819	—	5,030,819
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	4,590,946	439,872	5,030,819	—	5,030,819
営業利益(△損失)	2,439,881	△180,443	2,259,438	(202,524)	2,056,913

(注) 1 事業区分の方法

事業は、事業の製造方法及び製造過程の類似性を考慮して区分しています。

2 各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
医療ポータル	MR君等の医療関連会社向けマーケティング支援、調査、AskDoctors等の コンシューマ向けサービス、QOL君・開業経営サービス等の非製薬会社向 けマーケティング支援等
エビデンスソリューション	CapToolを活用した臨床研究支援等の臨床研究等に関連する事業等

3 事業区分の方法の変更

当社グループは、従来、インターネットを利用した医療関連事業に特化しており1つのセグメントしかありませんでしたが、第1四半期連結会計期間より大規模臨床研究支援事業を営むメビックス株式会社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来のインターネットを利用した医療関連事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックス株式会社の連結化に伴い新たに加わる大規模臨床研究支援事業等を「エビデンスソリューション」セグメントとしました。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,590,065	224,084	17,270	2,831,420	—	2,831,420
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	30,896	—	1,782	32,678	(32,678)	—
計	2,620,962	224,084	19,052	2,864,099	(32,678)	2,831,420
営業利益（△損失）	1,099,772	△7,305	△1,403	1,091,063	(98,402)	992,661

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,584,126	411,680	35,011	5,030,819	—	5,030,819
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	43,510	—	1,782	45,292	(45,292)	—
計	4,627,637	411,680	36,793	5,076,111	(45,292)	5,030,819
営業利益（△損失）	2,311,478	△44,513	△5,879	2,261,084	(204,171)	2,056,913

（注）1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	224,084	17,270	241,354
II 連結売上高（千円）			2,831,420
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	7.9	0.6	8.5

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	411,680	35,011	446,692
II 連結売上高（千円）			5,030,819
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	8.2	0.7	8.9

（注）1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 各区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

[セグメント情報]

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分に関する意思決定を行い、かつ、業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

「医療ポータル」セグメントは、医療従事者専門サイトm3.comの会員基盤を利用した医療関連会社向けマーケティング支援や調査等の各種サービスを提供しています。「エビデンスソリューション」セグメントは、大規模臨床研究支援事業等を行っています。「海外」セグメントは、米国及び韓国等での医療従事者専門サイトを活用した医療関連会社向けマーケティング支援や調査等の各種サービスを提供しています。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,030,600	982,535	704,072	6,717,208	141,140	6,858,348
セグメント間の内部売上高 または振替高	143,001	—	—	143,001	426	143,427
計	5,173,601	982,535	704,072	6,860,209	141,566	7,001,775
セグメント利益(△損失)	2,905,983	△48,325	36,412	2,894,070	125	2,894,196

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,565,481	505,224	352,654	3,423,360	76,249	3,499,609
セグメント間の内部売上高 または振替高	70,194	—	—	70,194	207	70,401
計	2,635,675	505,224	352,654	3,493,555	76,456	3,570,011
セグメント利益	1,470,397	7,248	25,443	1,503,089	1,419	1,504,509

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業等を含んでいます。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	2,894,070
「その他」の区分の利益	125
セグメント間取引消去	△19,303
全社費用(注)	△269,172
四半期連結損益計算書の経常利益	2,605,720

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	1,503,089
「その他」の区分の利益	1,419
セグメント間取引消去	△8,139
全社費用(注)	△132,146
四半期連結損益計算書の経常利益	1,364,223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用です。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 当第2四半期連結会計期間より、M3 Korea Co., Ltd. については当第2四半期連結会計期間において清算終了したことから、クリノグラフィ株式会社については重要性が低下したことから、連結の範囲から除外しています。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 6社</p>
2 持分法の適用に関する事項の変更	<p>(1) 持分法適用関連会社の変更 当第2四半期連結会計期間より、株式会社翻訳センターについては新たに株式を取得したことから、持分法適用の範囲に含めています。</p> <p>(2) 変更後の持分法適用関連会社の数 4社</p>
3 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 「資産除去債務に関する会計基準」の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ3,377千円減少し、税金等調整前四半期純利益は9,814千円減少しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、42,696千円です。</p> <p>(2) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な調整を行っております。 なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。</p>

(8) 表示方法の変更

当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
(四半期連結損益計算書) 1 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 2 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取配当金」は、当第2四半期連結累計期間において営業外収益総額の100分の20を超えたため、区分掲記しています。 なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれている「受取配当金」は、2,128千円です。
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書) 前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他の流動負債の増減額(△は減少)」に含めて表示しておりました「前受金の増減額(△は減少)」は、当第2四半期連結累計期間において金額的重要性が増したため、区分掲記しています。 なお、前第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの「その他の流動負債の増減額(△は減少)」に含めておりました「前受金の増減額(△は減少)」は△195,077千円です。

当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
(四半期連結損益計算書) 1 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 2 前第2四半期連結会計期間において独立掲記しておりました営業外費用の「持分法による投資損失」は、当第2四半期連結会計期間において金額的重要性が乏しくなったため、営業外費用の「その他」に含めて表示していません。 なお、当第2四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれている「持分法による投資損失」は、446千円です。

(9) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、226,235千円です。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、221,763千円です。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)																
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">報酬・給与</td> <td style="text-align: right;">499,896千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td style="text-align: right;">307,522千円</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">55,068千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">23,891千円</td> </tr> </table>	報酬・給与	499,896千円	販売促進費	307,522千円	ポイント引当金繰入額	55,068千円	賞与引当金繰入額	23,891千円	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">報酬・給与</td> <td style="text-align: right;">642,538千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td style="text-align: right;">434,781千円</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">84,710千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">45,132千円</td> </tr> </table>	報酬・給与	642,538千円	販売促進費	434,781千円	ポイント引当金繰入額	84,710千円	賞与引当金繰入額	45,132千円
報酬・給与	499,896千円																
販売促進費	307,522千円																
ポイント引当金繰入額	55,068千円																
賞与引当金繰入額	23,891千円																
報酬・給与	642,538千円																
販売促進費	434,781千円																
ポイント引当金繰入額	84,710千円																
賞与引当金繰入額	45,132千円																
※2 のれん一時償却額については、連結子会社メビックス株式会社が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買収価格に与えたであろう影響を精査した結果、買収時に使用したメビックス株式会社の財務情報が不適切であったために買収価格算定の前提が覆り、取得対価のうち過大であった部分を損失処理したものです。	—																

前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)																
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬・給与</td> <td>294,656千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td>141,020千円</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td>52,476千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>8,364千円</td> </tr> </table> <p>※2 のれん一時償却額については、連結子会社メビックス株式会社が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買収価格に与えたであろう影響を精査した結果、買収時に使用したメビックス株式会社の財務情報が不適切であったために買収価格算定の前提が覆り、取得対価のうち過大であった部分を損失処理したものです。</p>	報酬・給与	294,656千円	販売促進費	141,020千円	ポイント引当金繰入額	52,476千円	賞与引当金繰入額	8,364千円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬・給与</td> <td>319,929千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td>207,985千円</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td>69,580千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>24,480千円</td> </tr> </table> <p>——</p>	報酬・給与	319,929千円	販売促進費	207,985千円	ポイント引当金繰入額	69,580千円	賞与引当金繰入額	24,480千円
報酬・給与	294,656千円																
販売促進費	141,020千円																
ポイント引当金繰入額	52,476千円																
賞与引当金繰入額	8,364千円																
報酬・給与	319,929千円																
販売促進費	207,985千円																
ポイント引当金繰入額	69,580千円																
賞与引当金繰入額	24,480千円																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)												
<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>6,723,714千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間3ヶ月超の定期預金</td> <td>△259,038千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>6,464,675千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	6,723,714千円	預入期間3ヶ月超の定期預金	△259,038千円	現金及び現金同等物	6,464,675千円	<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>7,925,796千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間3ヶ月超の定期預金</td> <td>△309,065千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>7,616,731千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	7,925,796千円	預入期間3ヶ月超の定期預金	△309,065千円	現金及び現金同等物	7,616,731千円
現金及び預金勘定	6,723,714千円												
預入期間3ヶ月超の定期預金	△259,038千円												
現金及び現金同等物	6,464,675千円												
現金及び預金勘定	7,925,796千円												
預入期間3ヶ月超の定期預金	△309,065千円												
現金及び現金同等物	7,616,731千円												

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成22年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 261,984株

2 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高 親会社 47,956千円

(注) スtock・オプションとしての新株予約権の一部は、権利行使期間の初日が到来していません。

3 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年4月27日 取締役会	普通株式	942,235	3,600	平成22年3月31日	平成22年6月7日	利益剰余金

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 42,862.37円	1株当たり純資産額 41,632.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,547,229	11,258,160
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	317,975	361,486
(うち新株予約権)	(47,956)	(39,029)
(うち少数株主持分)	(270,019)	(322,456)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	11,229,254	10,896,673
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,984	261,732

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 431.98円	1株当たり四半期純利益金額 5,478.71円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 429.57円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 5,416.07円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	113,039	1,434,972
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	113,039	1,434,972
期中平均株式数(株)	261,678	261,918
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,469	3,029
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	1,387.14円	1株当たり四半期純利益金額	2,889.61円
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額	1,371.83円	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額	2,858.14円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	363,001	757,030
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	363,001	737,030
期中平均株式数(株)	261,690	261,984
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	2,922	2,884
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。